

今号の主な内容	
2面	小学生の防犯ポスターコンクール作品展
3面	区の地域防災計画を修正
3面	後期高齢者医療制度 入院時負担軽減支援金の申請を
4・5面	あなたのまちの民生委員・児童委員
8面	年末年始の資源・ごみ収集、区役所の業務



しんじゅくコール

☎(3209)9999 FAX(3209)9900
土・日曜日、夜間もご案内 午前8時～午後10時

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111
ホームページ <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>
携帯電話版 <http://www.city.shinjuku.lg.jp/m/>



携帯電話用二次元コード

2017年 夏目漱石生誕150周年に向けて

夏目漱石記念施設 整備プロジェクト Vol.2

講演・対談と朗読『こゝろ』

新宿区は、国民的文豪・夏目漱石(1867年～1916年)が生まれ育ち、その生涯を閉じたまちです。区では、漱石生誕150周年に当たる平成29年(2017年)2月の開館を目指し、「夏目漱石記念施設整備基金」を設置し、漱石にとって初の本格的な記念館の整備を進めています。

漱石が生まれた慶応3年(1867年)1月5日(旧暦)は、現在の2月9日に当たります。これにちなみ、「夏目漱石記念施設整備プロジェクト」の第2弾を開催します。漱石と漱石の生きた時代を感じられるイベントに、ぜひ、おいでください。

【問合せ】文化観光課文化資源係(〒160-8484歌舞伎町1-4-1、本庁舎1階)☎(5273)3563・FAX(3209)1500へ。



日時 2月9日(日)午後2時～5時 (午後1時30分開場)

会場 四谷区民ホール(内藤町87)

第1部 講演「夏目漱石と明治の文学界」

明治の文学者や世相を描いた『坊っちゃん』の時代』の原作者として知られる作家の関川夏央さんが、漱石や同時代を生きた文学者たちについて語ります。

第2部 朗読『こゝろ』

1914年の出版から100周年を記念し、俳優の榎木孝明さんが漱石の小説『こゝろ』の一場面を朗読します。

第3部 対談 関川夏央×半藤一利

漱石に関する随筆を数多く発表されている作家の半藤一利さんと、第1部にも出演される関川さんが対談します。

申込み

はがき(往復はがきではありません)かファックスに2面記載例のほか希望人数(3名まで)を記入し、1月10日(必着)までに文化観光課文化資源係へ。小学生までは保護者同伴。定員450名程度。応募者多数の場合は抽選。

ともに創ろう、(仮称)「漱石山房」記念館 夏目漱石記念施設整備基金に ご支援・ご協力をお願いします

漱石ゆかりの新宿のまちに、初の本格的な漱石記念館を整備するため、区民の皆さんをはじめ、多くの方にお力添えをいただきたいと考え、7月から寄付の募集を開始しました。2億円を目標額とし、12月5日現在で3,117万円(519件)の寄付が寄せられています。寄付をいただいた方は、新宿区ホームページでご紹介しています。

一口1,000円から寄付できます。引き続き、温かいご支援・ご協力をお願いします。

寄付の方法

ゆうちょ銀行・郵便局の 窓口・ATM

文化観光課・特別出張所・区立図書館等で配布しているパンフレット(右図)にはさみ込んである振替払込書(払込取扱票)に必要事項を記入し、お近くのゆうちょ銀行・郵便局の窓口・ATM(現金自動預払機)で払い込んでください。



関川夏央



榎木孝明



半藤一利

区長 中山 弘子
なかやま ひろこ

師走を迎え、22日は冬至です。今年一年様々なことがありました。一陽来復、経済の回復が本格化し、区民の皆さまの暮らしが上向いていくことを願っています。▼今月9日の漱石忌を前に、7日に牛込簗笥区民ホールで行われた創作劇「庭に一本なつめの金ちゃん」は大変好評でした。この公演は、昨年の小泉八雲を記念した創作劇「青柳」に続き、漱石、八雲ゆかりの都市・熊本の舞台を新宿で上演していただいたものです。漱石と八雲は、相前後して熊本と新宿の地で教員を務める等多くの接点がありました。これからも、様々な機会を通して交流を深めていければと考えています。▼7月からスタートした夏目漱石記念施設整備基金への寄付も、3千万円を超えています。記念館の整備にさらに多くの方々に参画いただければ、基金の目標額2億円に向けて、周知に力を尽くしたいと思っています。また、上の記事のように、来月2月9日、夏目漱石記念施設整備プロジェクトの第2弾として、作家の関川夏央さんの講演などを行います。ぜひ、ご参加ください。▼今年は海外から多くの観光客が訪れましたが、都内のホテル客室数は、新宿駅周辺が品川や丸の内、汐留を大きく引き離して第1位です。現在も歌舞伎町に、併せて千500室を超える2つのホテルが建設中です。また、歌舞伎町一番街のアーチも改修を終えて、LED化された新しいものになります。▼東京オリンピック・パラリンピックに向けて、おもてなしのまちづくりが動き始めています。知恵と努力をたくさん注いで、来年も皆さんとともにまちづくりの芽を大きく育てていきたいと思っています。